



漢事始

五

1 3
1917
5



門 43
1917
5

中華事始卷之五月錄

武備門

兵法

一

戰爭

二

陳列

三

先鋒

四

殿後

五

伏兵

六

火攻

七

水攻

八

舟戰

九

京觀

十

烽燧

十一

營壘

十二

兵樓

十三

斬首

十四

武舉

十五

七書

十六

禮樂門

禮

十七

樂

十八

冠禮

十九

嫁娶

二十

媒

廿一

祭祀

廿二

歌

廿三

凱歌

廿四

昭和十九年
三月二日
小田壽吉
七男友太
印氏寄贈

彙 九八 葬埋 九六 喪 九七 附宗廟 九八

社稷 九九 追贈 三十 追封 九一

典制門

勅 九二 詔 九三 上書 九四 改元 九八

年号 九六 改年号 九七 執務 九八 律 九九

刑 一〇 五刑 一〇一 斬 一〇二 梟首 一〇三

流 一〇四 笞杖 一〇五 赦 一〇六 贖 一〇七

禁錮 一〇八 賞賜 一〇九 進貢 一〇一〇 山海稅 一〇一一

酒稅 一〇一二 版簿 一〇一三

伎術門

伎術 一〇一四 醫書 一〇一六 藥方 一〇一七

小方 一〇一八 本草 一〇一九 鍼灸 一〇二〇 獸醫 一〇二一

日者 一〇二二 卜 一〇二三 筮 一〇二四 筭數 一〇二五

畫 一〇二六 射御 一〇二七 騎馬 一〇二八 百巧 一〇二九

規矩 一〇三〇 幻術 一〇三一

中華事始卷之五目錄終

中華事始卷之五

武備門 第十二

兵法 ヘイブツ 一 お軍法

沈起 シンキ が呉子序 ゴシノジョ よ云。兵法 ヘイブツ は黃帝 クワウテイ より始 ハジメ る。事物紀原 モノコトノハジメ 下同

戦争 センソウ 二

呂氏春秋 リョウシシュンシュ よ云。蚩尤 シユウ を兵 ヘイ を修 ツクリ る。其 カ 械 ケキ と利 リ と。軍

を蚩尤 シユウ を兵 ヘイ 法 ホフ につ ツ ぎ ギ る。時 トキ は カ 兵 ヘイ とは カ 兵 ヘイ 器 キ 民 ミン

を リ 林 リン 木 ボク 削 セツ て ケ 以 モ て カ 戦 セン る。黃帝 クワウテイ は炎帝 エンテイ と

版泉 バンセン の戦 セン も カ 也。然 シカドモ 則 スナハチ 戦 セン 争 ソウ と カ 云 イハ する ハ

文帝黃帝元初元年

陳列

史記云。多湯共工。陳者。て。い。く。あ。害を平ぐとい。り。こ。よ。わ。く。始て陳より。

先鋒

宣王の伐せ。時。を。い。り。先鋒。行。られ。周。

先鋒。八。固。人。の。制。なり。

殿後

周の制。い。わ。ん。殿。より。あ。を。い。く。是。は。先鋒。と。い。は。る。

伏兵

易云。伏戎於莽。これを。い。く。これ。は。敵。ら。は。伏。兵。も。三。代。より。い。わ。ん。

火攻

孫子書云。火攻あり。ある。亦。田。草。火。牛。は。火。あり。た。傳。云。桓。公。七。年。二。月。乙。亥。也。咸。丘。氏。

政廿六事也

水攻

て 晋陽

わり。ちうはハ穀必乃世よりおくるおん

フナイク
舟

ワラメイタス
王鳴鶴

十
京觀 クイケン

敵を討ち。その首を封じて墓と築くるなり也。
 因かゝて首塚といふなり也。

サ
伝

縣親を和

てれ

十一

烽火

日本よりお圖の火お圖の

玄女戦経よ。もろく烽火はわづれとん

物くし虞虜まらり起んん。黄帝

軍決めと又烽火を金るるあり。周

王。褒姒のそめは烽火と奉しるあり

夥くハ姫て兵兵用記よりおとれあかん

營壘

十二

史記。黄帝と冬帝と版泉は戦ふ兵作と

わく營衛とん。ハ營壘のうぐめ也。そ後兵

の形ハ兵軍營と云。

兵樓

十三

莊子。廉謹くしるあり。郭象が注よ。戦

樓の名。即敵樓なりとあり。夥くハ周衰

て。戦必の時ハ姫くられあり。

斬首

十四

首を斬て爵以賜ふ。秦ハ姫ハ敵の能一

ハ一と賜ふ秦の時ハ也。あは。津ハ

誠と敵る。とてふは兵よる。は首と

紙のつと功とすはるるを始久ハジメ。也壇必寃

十五 武舉 フキョ 武藝をあらわしめ。そのよく習ひしる

唐選舉志といふ。武舉ハ武后ブコウ 則天皇此時ナラヒエ

也起る。も始てむる。長安二年チャウアン 乙未ハ武

也唐書要ふ。乙未二年正月十七日天下乃徳

列は保して武藝を教ふ。毎年の徳を

士は准て貢舉せしめ。武舉ハ始也 フキョ 奉祀

七書 十六

黃氏クハウシ 宋ソウ 元亨年中 ゲンホウ 子チウ 年ネン 孫宗の孫子。具子コシ 同

馬法バフ 三略サンリョク 李衛リエイ 公孫コソン 尉繚ウリョウ 子シ 之略シ 六韜リクダウ 武

学ガク 是須シヨ て習ナラ り。む七書と号と。博物典彙

禮樂門 第十三

禮 十七

礼記に。終ハ飲食ヲ始メ^{ハビ}とわり。大昊犧牲^{タイカウキセ}
 とて庖廚^{ハウチウ}ニその人^{カニユ}。嫁娶^{ヨメイリヨメトリ}を制^{セイ}して。僮^{レイ}
 皮を以て^ヒ礼^レと^ニし^テ。多^タひ^ニし^テ。婚^{コン}を^ニし^テ。王^{ワウ}子^シ子^シ
 拾遺^{シウイ}記に。庖羲氏礼^{ハウキシレ}を^ニし^テ。宗^{アガメ}と^ニし^テ。又^{マタ}
 通典^{ツウテン}に。伏羲^{フクキ}よりけ^レ。又^{マタ}礼^{レイ}を^ニし^テ。實^{ジツ}嘉^カ也^ヤ
 始^{ハジメ}て彰^{アキラカ}也^ヤ。堯^{キョウ}舜^{シュン}の^ニ時^{トキ}と^ニし^テ。傳^{ツタハ}る^ニ。楊^{ヤウ}子^シは^ハ
 言^{ゲン}ふ^ニ。は^ハ伏羲^{フクキ}より^ニし^テ。堯^{キョウ}の^ニ成^{ナル}。

事物紀原下回

樂 十八

世^セに^ニ。伏羲^{フクキ}琴^{キン}瑟^セを^ニし^テ。作^{ツク}る^ニ。と^ニし^テ。
 初^{ハジメ}て樂^{ガク}と^ニし^テ。化^カと^ニし^テ。英^{クハウ}帝^{テイ}は^ハ。伶^{レイ}倫^{リン}は^ハ。余^メ
 ハ^ハ。書^シと^ニ考^{カウ}へ^ハ。八^{ハチ}風^{フウ}と^ニ調^{テウ}和^ワと^ニし^テ。重^{ウシ}の^ニ方^{ホウ}樂^{ガク}と^ニし^テ。
 く^ニし^テ。こ^ニう^ニは^ハ。と^ニし^テ。と^ニし^テ。傳^{ツタハ}る^ニ。

冠 十九

禹^ウの^ニ時^{トキ}。男^{ナニ}子^シは^ハ。冠^{カン}を^ニし^テ。一^{イチ}の^ニ冠^{カン}を^ニし^テ。
 礼^{レイ}と^ニり^テ。幼^{ヨウ}志^シと^ニ改^カへ^ハ。若^{ニハ}く^ニ。冠^{カン}を^ニし^テ。

あゝは始^{ハシ}也^ニ。今^{イマ}も然^{シカ}。

嫁^カ娶^{シュ} 二十

通^ツ典^{テン}云^ク。燧^{スイ}路^ロ氏^シ婦^フ。わ^ハり。人^{ジン}皇^{クワン}也^ニ。

伏^フ犧^キ氏^シ嫁^カ娶^{シュ}と制^{セイ}。儻^{レイ}皮^ヒと云^ク。礼^{レイ}と云^ク。帝^{テイ}。

王^{ワウ}世^{セイ}紀^キ云^ク。包^{ハウ}犧^キ氏^シ陳^{チン}都^ト。嫁^カ娶^{シュ}也^ニ。

礼^{レイ}と制^{セイ}と。王^{ワウ}子^シ年^{ネン}が拾^{シウ}遺^イ云^ク。包^{ハウ}犧^キ氏^シ嫁^カ娶^{シュ}て

嫁^カ娶^{シュ}して。人^{ジン}と云^ク。物^{モノ}紀^キ云^ク。

媒^{カイ} 九一

嫁^カ娶^{シュ}の礼^{レイ}ハ必^{カナラ}媒^{カイ}始^{ハシ}云^ク。太^{タイ}昊^{カウ}婚^{コン}礼^{レイ}と制^{セイ}。

ハハハ媒^{カイ}の礼^{レイ}。周^{シュウ}王^{ワウ}て始^{ハシ}く媒^{カイ}氏^シの友^{ユウ}

を以^{モツ}て万^{マン}民^{ミン}の礼^{レイ}と云^ク。

祭^{サイ}祀^シ 九二

王^{ワウ}子^シ年^{ネン}が拾^{シウ}遺^イ云^ク。庖^{ハウ}犧^キ氏^シ鬼^キ也^ニ。

て祭^{サイ}祠^シと云^ク。犧^キ牲^{セイ}云^ク。百^{ヒャク}練^{レン}云^ク。

と云^ク。祭^{サイ}祀^シ乃^{ナラバ}始^{ハシ}也^ニ。黃^{ワウ}帝^{テイ}内^{ナイ}傳^{デン}云^ク。黃^{ワウ}帝^{テイ}始^{ハシ}

てと祠^シ也^ニと祭^{サイ}りて天^{テン}を祀^シる。

歌^カ 九二

夏^カ侯^{コウ}云^ク。辨^{ベン}樂^{ラク}備^ビ。伏^フ犧^キ綱^{コウ}罟^ソ乃^{ナラバ}始^{ハシ}也^ニ。

𦵏^毛
九七

二載^{サイ}に海^イ八^ン方^フと^ト遇^ア密^ツを^ニわ^ニ連^ツい^ニ
 二載^{サイ}に海^イ八^ン方^フと^ト遇^ア密^ツを^ニわ^ニ連^ツい^ニ

附
宗廟
先祖の神靈と

去る道ハ家をおよりて
すめなり テラカ

九廿
社^{シヤ}
稷^{シヨク}
社^{シヤ}ハ土神^{ドジン}。稷^{シヨク}ハ穀^{コク}祿^{リキ}也。もろこしハ
おこし人^{シヤ}社^{シヨク}を^{シヤ}とて^{シヨク}を^{シヤ}祿^{リキ}と^{シヨク}を^{シヤ}ある。

帝テイ 雲コノ 高カウ 辛シン 氏シ 代ダイ 時ジ 共キ 工ウ 乃コ 子シ 勾コウ 訖シ 氏シ 之シ 以シ 社シャ 与ヨ

改元
カイゲン
卅五

あり。今に如所まゝ、常とん。ある改えり。
 秦あるよりちとまり。章衡が編年通載
 よ。魏ある十六年。又て元年とん。
 漢書梓材よ。楊慎が云いあり。天子侯伯
 と継年紙跡で。始く元年と稱ず。一主を
 終るまで一きび元年ありて。一主は
 して再えりと稱するものなり。に文
 帝新恒平の云紙に。再後元年と稱せ
 らぬ。その後武帝の号も云く。おん改

えわり。これより歴代皆かくの如し。俗に
 後よ。乱五年。改号竊土。曰く文。名乃。後わ
 里。ちつ。進た。長曆と。名。あ。よ。秦。あ。又。王。十。に。て。
 文。乃。元。年。と。あ。と。そ。漢。文。帝。は。始。よ。ハ
 わ。し。ん。

年号 卅六

漢武帝建元元年より。一。も。か。顔。作。古。が
 い。く。古。より。帝。王。の。し。う。年。号。の。し。ん。に
 始。く。し。ん。

改年号 卅七

漢武帝即位。一。あ。ひ。始。く。建。元。の。年。号。を
 立。く。也。そ。後。六。年。八。月。は。長。星。お。現。け。て
 と。七。年。は。南。の。時。年。号。を。改。て。元。光。元。年。と
 云。後。世。人。自。年。号。を。改。ら。り。し。れ。し。り
 始。れ。漢。書。年。表。

年号と改れり。唐乃武氏。天。皇。より。志。げ
 する。一。武。氏。在。位。二。十。二。年。改。元。と。り。り
 十六。は。の。の。令。一。夕。は。更。て。戲。と。す。か

の。そ^{ツキ}次ハ唐^{タウノカウソウサイ}多^イ家^イ主^イ位^イ三^イ十^イ年^イ内^イ改^イ元^イ
 と^イ家^イ十^イ又^イ。そ^イ次ハ漢^{カンノブ}武^{テイ}帝^イ主^イ位^イ四^イ十^イ年^イ。
 改^{カイ}元^{ゲン}と^イ家^イ十^イ又^イ。そ^イ中^{ツウチ}或^{アル}人^{ヒト}と^イ云^イく^イ。
 或^{アル}符^フ應^エを^イ云^イく^イ。と^イハ七^{フホ}八^ホ年^イと^イ云^イく^イ。
 少^{ニハカ}さ^イハ一^{アラタム}二^イと^イ云^イて^イ遽^{フケイ}と^イ改^イ何^イぞ^イ不^イ知^イか
 然^コと^イ甚^イしと^イ云^イや。亦^コ今^イ年^イ号^イと^イ易^イさ^イ所^イ者^イ
 冬^{カンノ}そ^イ。漢^イ明^イ帝^イ。隋^{ズイノ}煬^イ帝^イ。唐^{タウノ}多^イ祖^イ。大^イ宗^イ憲^イ
 宗^{ソウ}。宣^{セン}宗^イ。懿^イ宗^イナリ。祚^ソと^イ享^イか^イり^イ永^イく^イ
 ぞ^イ家^イもの^イハ^イあ^イる^イと^イ云^イ。又^イ元^{ゲン}と^イ云^イハ^イ始^{ハジメ}也^イ。人^イと^イ

ニ始^{ニシ}く。帝^{テイ}且^ニ二元^{ニケニ}なり。いんや^{シラスウケニ}十^シ教^ス元^{ウケニ}
 あ^{コトハリ}る理^{ミン}わ^{テマ}らんや。明^ヨ物^イまの^ニも。伐^{テイ}く^{ウツ}乃^ニ帝^{テイ}王^{ウツ}
 乎^{ソクイ}。帝^ニ位^イ一^ニあひてその翌^{ヨク}年^{子ニ}改^{ガイ}元^{ゲン}せし
 と^{ミヲハルミテカ}終^コ身^コ易^コへ^コん。又^コ古^コ今^コは^コ卓^{タク}越^{エツ}と^ニせ^ニ獨^{イツ}下^カ
 と^{ゴザツフ}又^コ新^コ祖^コの^コあ^コる^コせ^コり

執^{トル}効^{レヤクヲ}
卅八

礼^{レイ}は命^{メイ}と君^{キミ}おほま交^{マウ}付^ツ。勞^{ロウ}を用^{ユウ}てある人々
あり。二代^{ニダイ}乃^ナ制^{セイ}也。古^コハ貴^キ賤^{ゼン}通用^{ツウヨウ}して。君^{キミ}上^{ジョウ}
乃^ナ改^{カイ}令^{レイ}とある。後^コ代^{ダイ}は至^シり。そ^ソハ八^{ハチ}咫^ヂ尚^{ジョウ}玄^{ゲン}の

これとて。所。その。刑。云。卿。ハ。手。板。と。ぬ。て。す。
 と。元。との。友。と。わ。く。さ。か。り。成。る。人。後。周。武。帝。
 保。定。四。年。と。い。ふ。始。く。百。官。を。一。て。効。成。
 と。と。む。事。お。記。る。下。日。

九 律 刑の科をよ。り。その。か。く。と。罰。と。

凡。俗。通。よ。云。皋。陶。謨。云。虞。の。時。始。く。律。と。造。り。
 と。り。及。漢。張。敖。と。疏。一。て。云。皋。陶。は。律。と。
 造。る。急。然。章。云。皋。陶。獄。成。造。く。は。律。と。造。る。

刑 四十

尚。書。比。呂。刑。云。云。坐。む。又。虎。の。刑。を。他。く。注。く。
 云。舜。の。を。て。皋。陶。と。令。一。て。又。刑。成。め。よ。せ。
 云。む。呂。氏。云。秋。の。と。い。ふ。云。皋。陶。刑。を。注。く。云。

又刑 四十一

云。代。の。時。墨。額。と。刻。て。墨。劓。鼻。を。割。り。刺。足。を。削。官。
 刑。也。男。子。ハ。勢。を。割。婦。人。ハ。宮。中。ノ。大。辟。死。と。云。と。い。て。又。刑。と。
 云。れ。ハ。墨。額。と。い。ふ。云。

又。刑。の。注。云。代。より。一。て。云。れ。あり。漢。の。時。は。
 僅。く。云。刑。あり。黥。劓。斬。趾。の。云。文。帝。十。二。年。

よきて内刑を深く鉗鉗を以て強ふ
久。答ふ二百とんと以て梟より。答ふ百
と答ふて斬趾に代へ肉刑を深く
り。好也

斬 四十二

尸子よ云。黄帝中。莫と云。所よりて。室を
き。黄帝内傳より。室を版泉と
みく。捨ふ。帝より。金銭とて。これを
き。海とわ。い。斬。軒轅氏より。好

梟首

日本より。罪人を斬。首を
を獄門より。け。つ。と。同。い。と。也

む。黄帝。蚩尤を切。その首。氏軍門より。け
させ。より。此。梟首。の。好也。

流 四十

黄帝内傳より。帝。蚩尤を斬。て。首。氏軍
門。より。無。て。以。て。下。と。む。多。蚩尤
を。一。流。ハ。荒。乃。か。に。流。と。是。外。流。刑。也。好
也。舜。乃。曰。凶。族。と。る。共。工。を。幽。別。に。流。一。灌
兜。を。崇。山。に。放。ち。三。苗。族。之。危。を。竄。一。孫

をツ押サニふ。又、キヨク強し。又、ナダなだ也。流リウと云くは刑を定むなり。

笞杖 ムチウツ
四十五

尚書シヤウシヨはいく。鞭ムチを以て友刑ユウケイをなす。是コトを

則ヘキツ答コタヘ乃ナリ是コト也ナリ。朴ハシとシ以モツ教カウ刑ケイとシなスん。トモヨク

ツエウツ
お杖の如き

四十六

虞書の云。青災ハ肆赦とて。青ハ。ふあ。の。あや。り。罪。と。り。つ。す。たり。災。

不幸ありて。うさひひはかり。衆を
かう民也。け二のものハゆらすとゆ。
乞ふく。又通し。救レ。

乃て天子テイシ帝テイ尊シユンより始るを人

アカチ
贖
四十七

ルンテン
彙典といふ。今^{キン}以^キて贖^{ソク}刑^{ケイ}を^ヲ人^ニ返^{カエ}す誤^ミ

て刑に入りの金のキニを出イダして贖アガフを云ふ。是れは外

飛ツミと賤アガチハ育ユウ震グ氏シ又始ハジメ也。

禁銅 四十八

レユニウサ
 デン
 キヒミクツナク
 美秋名傳日。商任日舍一て藥氏を網すと
 キヒミクツナク
 キヒミクツナク

あり。ちの通にハオ。禁酒^{キンゴ}なり。とてよ。春秋^{キョウシュ}乃

在りか。

貴^{キヤウ}し^シて^テお^モつ^ツ人^ニは^ハ。そ^ソの^ノ地^チを^ヲ

モツテスヨウラ
以庸

庸ヨウ功也。功コウある人

り。高ニヤウ功コウ樹ジュ心シン之ノ麦マク

乞 賞賜 也

うきもの草紙

と
か^{ワカ}
ら。
婿^{ムコ}
と
土^ト
地^チ

水チ江ミいウく。真コウ

此は
シニコウ

千
坂
子
と
ま
り

五十一

とひにふれふ海乃

三
金
利
人
と
信
コ

古
今
平
語

五十二

八。摧^{カク}酷^コ寢^{ハン}をやむ。

ありて。さうして。海へつ
りて。まゐる。あり。

かきつばた

之
民
酒
之

版簿 ハニホ
民の教とあるを

ヒトカズニスファミ

と生ニヤウずるよりいゝハ皆ハニ股マり女メ人ニ大タイ亭サイ此レ戯シヨシ

圖里ノきくに版圖を以て今割縣下丁

コウハンボ
に版簿と云ふものあるにたり。周よりと

事物紀原

芝
 二
 三
 伎術門
 第十五

ギ
シ
ユ
ツ
伎
術
ヒ
ト
ノ
ワ
ザ
五
十
四

黃帝クハウテイ内傳ナイデンといふ。帝テイとて天子とかならコウ勾。

芒^{バウラ}結^メふ令^イて又^{ツカサト}乃を司^{ツカサト}くび。うに木

わく
針シ
ケイ天テ
ン文モ
シ地チ
リ理ボ
ク卜ハ
フ法サ
ニ筭ジュ
ツ術キ
ツ占ケ
ウ山ソ
ウ喪サ
ウ葬ウ

乃^{コト}
少^ス
休^ユ
々^々
々^々
ハ
好^{ヨク}
。有^{アル}
子^コ
之^ノ
て
伎^キ
術^{ジュツ}
を

軒轅ケンエンより下りて
下りて紀原

醫
五十又

南ホ燈ヒツグクスレ帝テイ王ワウ世セイ死キふゑクハ炎テイ帝キ波ハク伯ハクとハクりハク

醫業を治るは、
さむ。既久し。巫彭初て醫と名ん。民云
秋也といく。巫彭醫と名ん。

聖人乃天下の世と受へる。ゆへに
は波伯も余トて。醫業治るは。人
乃非余を救ひたり。げあも醫乃術を
治民此司余。て。そ責むくお。し。
あり天地氣運乃術と名ん。世余者
微をゆふ。虚実逆順乃病とさる。浮

沈逆救の脈法。補泻温涼乃術。各
施。緩急輕重の劑と名ん。とて聽
明。理達の人より。されど。けは。は。
し。ゆ。ゆ。ゆ。後。始。人乃命を
司。民乃病と療する。と。と。と。と。
人乃病。良相と名ん。と。と。と。と。
ひ。と。り。げ。と。良。お。と。なり。こ。下。乃。政
と。執。り。ひ。仁。政。と。教。し。民。と。り。う。と。ひ。り
く。と。と。と。と。は。天地の化育と名ん。

[illegible]

なるゆゑ。も^{サイセイ}性そなり。なんぞあつた
 さんや。あつた。せよ良^{リョウ}醫^イをゆゑるなり。
 あり聖^{セイ}人^{ジン}も醫^イハ二世^{サンセイ}あつていふ。そ業^{クサリ}を服^{フク}
 せんとあへて。又漢^{カン}書^{ショ}より。付^{トキ}口^{コト}談^{タン}をあげて。
 病^{ヤミ}ありてはあつた。中^{チュウ}醫^イとゆつたり。や。
 是^{コト}ハせり良^{リョウ}醫^イ少^{スウ}なり。あつた。病^{ヤミ}は遠^{セウ}近^{キン}
 せよ業^{クサリ}はこれと服^{フク}して却^{カヘリ}て病^{ヤミ}は
 あり。あつた。病^{ヤミ}ありて療^{リョウ}治^チせよ。つ。
 中の醫^イをゆゑるなり。いふ。そ業^{クサリ}を服^{フク}

キ
ウン
テ
サツ
サツ
モク
チ

よ索サツー。中ナカうーてい性セイ情ジヤウを人々索サツす。あ

にき^{カシ}あひろく^{カシ}てきとくせんや。

業ゲフハ欲ス専モツカサニ 術ジツ業ゲフ成ニ当ニ一ニ 勤ツトメて 所スヘを 好ヨシむ

ふかき。この業を印とらふは勤ていふも。

於かゝる事あり。又卯の事には

とらふ。そ^ニ術^ニかんぞ^ニむらんや。あ^ニ醫^ニい

一術^{ジツ}
は^{モツハラ}
て^{タゲイ}
地^{コノ}
藝^{コノ}
を^{コノ}
好^{コノ}
む^{コノ}
人^{コノ}
の^{コノ}
識^{コノ}

欲^ス高^{カテ}珍^{シラ}我^ハ窮^{コノ}め^{コノ}心^{ガシラ}。微^{カスカ}なる^{カスカ}と^{カスカ}見^{オアラハ}え^{オアラハ}

あるを志り。已^イに^ダ乃^ノ迹^{アト}を索^{サウ}し。未^ミ来^{ライ}に^イ因^{イン}

事也。
 氣欲下。
 其氣虛也。
 氣。

と下^{クダ}。貧^{ヒン}賤^{セン}の人とすてに。奥^{ウラ}祿^{クハ}の病^{ヤミ}を

きゝいざるや也。けりやそ職シヨクに居イてそ業ケツ

をわかれ。貧^{ヒニセン}賤^{セン}なりとてふれとすて。

臭^{ニウ}保^{クイ}かりとてこれをきく人^{コト}ハ^ハ也^{コト}理^リ

か紀事述。う。内。子。成。なり。と。ふ。う。因。る。

道なるゆゑに。それとあなりし

しとおとろふよくそ業と易へさるるか

教と。さへかくて美^ミと^セと^ン。
 量^{リヤウハ}欲^{スヒヨカス}宏^{テラ}我^{カタキヤスキ}よようさふ
 量^{リヤウハ}欲^{スヒヨカス}宏^{テラ}我^{カタキヤスキ}よようさふ

わはハ人^{ツゲ}も告^{ツゲ}あせ。人^{セニ}乃^{セニ}吾^{セニ}わはハ
れを^{マナバ}学^{マナバ}ひて人^{ニシガ}我^{ニシガ}れ^{ヘタテ}師^{ヘタテ}な^{ヘタテ}く。そ^{ヤヒ}病^{ヤヒ}と
瘡^{イハ}す^{イハ}ゆと^{イハ}く^{イハ}そ^{ツト}勤^{ツト}と^{ツト}と^{ツト}人^{ツト}一^{ツト}け^{ツト}
人^{ニシガ}我^{ニシガ}れ^{ヘタテ}師^{ヘタテ}ある^{ヘタテ}ゆ^{ヘタテ}ハ^{ヘタテ}醫^{イジユウ}術^{イジユウ}に^{カキ}限^{カキ}さる^{カキ}ゆ^{カキ}
何^{ツホ}ぬ^{ツホ}た。そ^{ツホ}こ^{ツホ}て^{ツホ}醫^{イジユウ}術^{イジユウ}を^{マナ}学^{マナ}ぶ^{マナ}人^{マナ}の^{ヘキ}師^{ヘキ}
多^{ツホ}し。そ^{ツホ}こ^{ツホ}て^{ツホ}一^{ツホ}む^{ツホ}人^{ツホ}さ^{ツホ}ゆ^{ツホ}也^{ツホ}。
人^{ツホ}乃^{ツホ}お^{ツホ}研^{ケン}べ^{ケン}つ^{ケン}食^{シキ}料^{シキ}も^{トメ}富^{トメ}る^{トメ}もの^{トメ}か^{トメ}れ^{トメ}

これを交て業^{ヤク}質^シと。契^{ツキ}志^{モノ}の朽れ
 は断^{タツ}て交へる人ハ事とよく移^{ユクナハ}ん人
 を。創造化^{サウクハ}の力以助^{タス}く内良醫^{リヤウイ}と云に海一
 又智識^{チレキ}もれく性^{サイセイ}もな。事理^{ジリ}ようと
 く。何学^{フنگン}はさなく世俗^{セソク}のうらまへて。
 世よりりる人^{イチチ}の命^{イミチ}の地きとく人
 とわさむとて醫^{クスレ}とあんとする。わうぬ
 人の心^{ココロ}をせんずと求る能なり。こゝろ
 根^ネが、いふことはいけうかいぐあさは

帝王世紀云。炎帝。燭之。破。公。且。命。一。て。九。鍼。
 と。制。せ。し。め。内。外。經。氏。著。し。て。一。の。素。問。の。
 名。咸。く。お。炎。帝。肉。傳。し。て。帝。昇。て。子。と。な。
 る。鍼。經。脈。決。傳。し。て。一。の。素。問。の。名。咸。く。お。炎。帝。肉。傳。し。て。帝。昇。て。子。と。な。
 甲。し。の。名。皆。炎。帝。と。祖。と。し。て。一。の。素。問。の。名。咸。く。お。炎。帝。肉。傳。し。て。帝。昇。て。子。と。な。

素方 又十七

氏。小。使。し。て。云。帝。素。方。と。傳。し。て。一。の。素。問。の。名。咸。く。お。炎。帝。肉。傳。し。て。帝。昇。て。子。と。な。
 解。入。ス。

小方 小児の素 又十八

孫。思。邈。が。千。金。方。と。い。ふ。小。児。六。策。と。り。て。下。
 る。炎。帝。の。祝。し。て。中。古。の。巫。姑。と。云。ふ。もの。あり。
 始。て。願。願。經。と。撰。て。一。の。素。問。の。名。咸。く。お。炎。帝。肉。傳。し。て。帝。昇。て。子。と。な。
 且。始。く。小。児。の。方。と。い。ふ。小。児。六。策。と。り。て。下。
 婦。より。始。れ。

本草 又十九

帝王世紀云。炎帝。燭之。破。公。且。命。一。て。九。鍼。
 あり。て。疾。と。療。し。て。一。の。素。問。の。名。咸。く。お。炎。帝。肉。傳。し。て。帝。昇。て。子。と。な。
 唐。書。子。志。寧。傳。し。て。一。の。素。問。の。名。咸。く。お。炎。帝。肉。傳。し。て。帝。昇。て。子。と。な。

をかむ英帝よりあるは又字傳に人
 且云傳に人の相害
 相害と害云なり
 英帝の長下なり
 てお海無しのせられ
 海邊たそ載か不れ
 郡縣多くハ漢の時代名なれ
 郡縣多くハ漢の時代名なれ
 仲京華佗が書に
 仲京華佗が書に

鐵灸 六十

帝王世紀云。大異八卦と畫して、以て象を

心レイ類レイとる。とゆかり。外レイ九レイ鍼レイを制セイと。又
 いレイくレイ炎帝レイ。震レイ公レイ波伯レイ又命メイして。九レイ鍼レイを制セイ
 せレイしレイびレイ。是レイ鍼灸レイ乃始也。

六十一

續事始也同。英帝此時。乃作室と云ふのあり。
 ぐくろ狀醫して。祚めよ通せり。説獸醫乃
 因れり天友よ獸醫あり。友友よ巫馬の職と
 のせり。

シツヤ
目者
ウラナ

六十二

史記曰者傳の臣も古人ト筮も通ず所時ハ
それを目者とも云。その外周の天下に賦也

ト 六十三

トれうゝあひとトと云。事始る云。庖犧氏の
時始てトあり。去秋え命包よ云。古々司理ト
をこまれ

筮 六十四

著つゝあひと筮と云。世中よ云。巫咸筮と
他も古史考よ云。高の時巫咸筮とよくと。呂

氏去秋あも又ゝゝあくゝり。された巫の
字紙筮となりて筮咸とあり。歸義り

いゝ。女媧筮と伝る時雲幕を張く枚占
と。書經よ。舜曰。龜筮協從。と。筮ハ巫咸

始て此とあなり。その前のやと記せる
荒古經よ。かんそ筮といふ人お史考よい
く。庖犧氏卦と伝る。始く筮あり。もと始也。

筮 六十五

後漢書休歴志よ。隸首數を伝る。晋律歷

漢書文選卷五

畫工

六十六

易通卦驗エキツツケルゲンよ。宓犧フクキ方牙倉精ハタガサウセイ易と伝エキり。
 易エキと伝ツリり改ヒツリトとかん。志シう是を去コトる。
 ツノカタチエカと畫エカく。易エ乃起也。世かよ。史シ空圖ツクと伝
 り。宋ソウ衷チュウ云。莫帝モクテイ乃長。或云史空シクウ亦蒼頡也。圖ヅハ物象ブツゾウ
 名氏云秋もいふ。史空シクウ畫を傳エり。
 と画エカく。りとも。

六十
射御
七

加力^カ師^シ
ハル[△]氏^{モツ}ハ
テ車^{クルマ}ニ
乗^{ノリ}ス

易繫辭ヨシハツテイ云ユミヤ炎帝ヒキ弘矢フミキ也ヒキ。天下フタトと威ヒキ之ヒキ。
又ヒキいヒキく。牛ウシは服フクす。是コノは象シメあり。室ムロ紙シ以ヒキてを
は被イタふ。それを以ヒキて足タラシを射ヤキ所トコロハ皆スベテ炎帝ヒキの
と始ハジメなり。世ヨは云ユミヤ臣シ服フク牛ウシは服フクす。是コノは象シメあり。
相サハ土トるは象シメあり。是コノは象シメあり。腸ハツ駕カをシメかシメんチ。
乃スナハチ是コノは帝ミコ昌カヨ氏シ去シテ秋アキをシメ云ユミヤ。象シメ時トキるは象シメあり。是コノは象シメあり。
又ヒキいヒキく。五イタ牛ウシは服フクす。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。氏シ小コ史シ。
又ヒキいヒキく。大オホ牛ウシは服フクす。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。世ヨは云ユミヤ。是コノは象シメあり。
韓カン哀アイ卿キョウをシメかシメんチ。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。
巧コウと加カはシメるチ。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。
逢ホウとシメるチ。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。是コノは象シメあり。

驕馬
六十八

糸と。より。む。ハ。紙。以。て。車。に。架。す。る。事。と。い

有り。單^ニ張^キれり。と
 一^{ロク}必^{コク}乃^{コク}時^{コク}

とく^{イタリ}て^{タキ}單^{タキ}あ^{タキ}わり。今のこゝろ。なほ^{ナホ}強^{ナホ}傳^{ナホ}

たゞ^半張の字は
餘を序

六十九

山海經サンカイキョウに云モトメ。帝俊テイシュンハ身ミとシうシもシ身ミハ義均ギキョウとシう

心義^{ハナカミ}為^ナハ始^{ハジメ}テ巧^{タカミ}と好^スム人^{ヒト}也^{ナリ}。倭^{ヤマト}始^{ハジメ}テ百^{ヒャク}巧^{タカミ}

規矩
七十

尸シ子シよエ。古イニシハス倭キ規ク矩シ準シ繩シとシりて。と下と

してあふゝむ
ゲンシュツ
倭ハ漢帝の
時ノ如クミ

七十一

前セシ僕カン去ジヨ張キョウ騫ケンが傳デンふ。梨リ軒ケン眩ケン人ナンジンとひくテタ約テタり
 放タテマツる。衆ガン昨シ古コくチほダまダえダ。眩ゲンハ幻ゲンとナ向ムク一イチ。即キツキ今イマ
 刀カタナとのも。火ヒとふも。氣キとふ人ヒト樹キ伐キう人ヒトと屠ホラ

漢武帝の時、大宛より^{タテ・ツ}放^{タテ・ツ}る所、西域より^{タテ・ツ}來^{タテ・ツ}る
 人あり。

中華事始卷之五 終



